

JSAF オリンピック・パラリンピック準備委員会&環境委員会が ビーチクリーン活動を行いました

JSAF 環境委員会は「残したいのはきれいな海」をスローガンに掲げ、きれいな海を守るために環境保全活動を行っています。

その一環として、2016年から「きれいな海でセーリングを」を合言葉に、世界のセーラーたちにきれいな湘南の海でのセーリングをしてもらうことを願い、世界規模でのレースが数多く開催される江の島ヨットハーバーに隣接する片瀬東浜海岸のビーチクリーン活動を「日の丸セーラーズ」のオフィシャルスポンサーであるプルデンシャル生命保険株式会社と共催で始めました。

昨年は、台風の影響で中止になりましたが、今年は、9月22日に「日の丸セーラーズ」のオフィシャルスポンサーである、プルデンシャル生命保険株式会社、株式会社インフォメーション・ディベロプメントと日本セーリング連盟(オリンピック・パラリンピック準備委員会&環境委員会)の共催で開催しました。

当日は、朝から天候が不安定でしたが、「日の丸セーラーズ」オフィシャルスポンサー2社の約280名の社員・ご家族の方々とJSAFの河野会長、桑原副会長をはじめ約20名のメンバーが参加して、総勢約300名で清掃活動を行いました。

ビーチクリーン活動の後には、JSAF主催のヨットレース「江の島オリンピックウィーク」を観覧艇に乗って観戦するというオプションもあり、セーリングに関する理解も深めていただきました。

また、この日の活動には「公益財団法人かながわ海岸美化財団」のご協力を得て、清掃用具の貸し出し、ゴミの回収などのサポートをしていただきました。

このビーチクリーン活動を始めて3年になりますが、来年以降もさらに参加人数を増やして、環境保全活動に取り組んでいきたいと思えます。(レポート/米田敏也 オリンピック・パラリンピック準備委員会)

